

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	徳島大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	トクシマダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F136110110231
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	徳島県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	徳島文理大学
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	徳島県
	大学等名2(連携大学等)学校種別	私立大学
	大学等名3(連携大学等)	四国大学
	大学等名3(連携大学等)学校所在地	徳島県
	大学等名3(連携大学等)学校種別	私立大学
	大学等名4(連携大学等)	徳島工業短期大学
	大学等名4(連携大学等)学校所在地	徳島県
	大学等名4(連携大学等)学校種別	私立大学
	大学等名5(連携大学等)	阿南工業高等専門学校
	大学等名5(連携大学等)学校所在地	徳島県
	大学等名5(連携大学等)学校種別	国立高専
	科目名	実践力養成型インターンシップ、実践型インターンシップ
	学部・研究科等名	全学部
	担当教職員名・役職	山中英生（教授）、松本卓也（特任助教）、森脇一恵（特任助教）
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	14
	受入企業等数	4
受入企業等名	（株）QLiP、（株）農家ソムリエーズ、（一社）大学支援機構、（株）NDK	
インターンシップの分類	1.長期（概ね1か月以上）インターンシップ 6.低学年（大学1年次～2年次程度）からのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類（記述欄）		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決（例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等）
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
1-3.上記回答内容に関する詳細	本インターンシップは、COC+事業の一環で開発された、徳島県内の企業・団体が抱える“経営課題”に対して、受入先の担当者様と学生チーム（1～4年生の学部混合）が中・長期にわたり協働して課題の解決を目指すプロジェクトベースの実践型インターンシップである。	
2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 9.その他

要素②	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	「短期インターンシップ」や生物資源産業学部の「インターンシップ」及び「産業体験実習」で単位互換を行っている。また、単位取得をしない学生（自由参加）も受け付けている。
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部1年
		大学 学部2年
		大学 学部3年
		大学 学部4年
2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位	
2-5.上記回答内容に関する詳細	教養教育科目として開講しているので学部1～4年次が単位取得可能である。通年2単位の科目である。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
		5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	前年参加者からの引き継ぎ、アドバイス等
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている		
3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている		
4.その他		
3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	希望者に対し次年度インターンシップのサポートの機会を提供	
3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している	

		2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
		3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	チームごと（企業・学生含む）のミーティング参加によるモニタリング
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	全3回の事前研修を実施。 第1回：一般的なビジネスマナーや職務に携わる上で必要となる基本動作研修を行う。 第2回：プロジェクトの推進に必要な基礎知識等をワークショップ形式で学び合う。 第3回：受入企業・団体様も出席し、プロジェクトチームごとにプロジェクト管理やスケジュールを策定する。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	最終報告会：成果やインターンシップ期間中に学んだことを「ポスター制作」と「発表」を通して再確認する。 学生向け振り返り会：インターンシップ期間を通して、何を学び何を得たのかについて振り返る。 受入先向け振り返り会：インターンシッププロジェクトで得たせい（シーズ）をどのように実装させるかについて考える。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	プロジェクトの進捗に合わせて適宜実施し、方向性の確認やインパクト最大化の方策について検討している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
		4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	月1のレポート（リフレクションシート）の提出とPROG実施
4-3.上記回答内容に関する詳細	1ヶ月に1回提出のリフレクションシートにより学生の意識や行動の変容について確認している。また、リアセックのPROG導入しインターンシップ事前事後にテストを行い、結果に関する解説会も実施している。	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
		4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	7月～2月の間、プロジェクトの進捗及び必要性に応じてメンバーが集合する。	

	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	チーム毎に適宜実施
	5-3.上記回答内容に関する詳細	チームメンバーは学科、学年横断で構成されるため、事前学習終了後はチーム内で日程調整を行いながら進めている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		6.企業と協働して、P D C Aを実施している
	7.その他	
6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	プロジェクト進捗と成果に関するミーティングの実施	
6-3.上記回答内容に関する詳細	進捗に合わせて、企業とコーディネーターや、場合によってはドン（学内メンター）、サポーター（インターンシップ修了生）で一体となって実施している。	
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.tokushima-u.ac.jp/coc-plus/internship.html
問い合わせ先	大学等名	徳島大学
	担当部署名	学務部学生支援課キャリア支援係
	担当者役職名	係長
	担当者氏名	田村 典子
	電話番号	088-656-7089
	メールアドレス	careerc@tokushima-u.ac.jp